

## 2020年度の保全管理活動

【目次】

- |                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 2020年度の保全管理活動計画 | P2 |
| 2. つばさ北小学校         | P3 |
| 3. マーケットリサーチの協議結果  | P4 |

# 1. 2020年度のスケジュール

●前回報告（12月3日）からの進捗について報告します。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ									10日(火) : 本田航空 17日(火) : タリーズコーヒ ージャパン 25~28日(アーカ イフは~12/25 : エコプロ2020 オンライン開催 (各自視聴)	10日(木) : タリーズコーヒ ージャパン : S研究会 10日(木) : S指導員 11日(金) : A高校			9日(火) : O市教育委員会
協働・ 連携	つばさ北 小学校		上旬: 環境学習① : 環境学習② (延期、中止)	環境学習① 29日(月)			29日(火) : 環境学習③ (中止)				●: 環境学習 ④→②(延期)	環境学習② 24日(水) サクラソウ移植と 同時開催	
	学校関係 桶川西高校	29日(祝・水) かわじま輪中の郷 ウォーキング (中止)						18日(日) 秋イベント : 科学部・放送部協力	23日(祝・月) 川島町農業商工祭 : 科学部協力 (中止)				
	専門 学校 東京 デザイン 学校							15日(木) : オリエンテーション	26日(木) : 成果発表	25日(金) : 表彰式			
	NPO・ 民間企業 等	20日(月)午後 : (株)サイサン 新入社員研修 (中止)	●: 大和ハウス 工業(株) 地域共生活動 (延期)	17日(水) : OREC (乗用草刈り機試乗) 18日(木) : S財団(理事会)		15日 : (公財)サイサン 環境保全基金 助成申請	●: 上尾 ものづくり 協同組合 社会貢献活動 (中止)	下期: 大和ハウス工業(株)地域共生活動(中止)					

## 2. つばさ北小学校

● 『荒川の草花を育てようプロジェクト～荒川太郎右衛門地区自然再生地～』の第2回目の環境学習を下記の日程で実施しました。

▶2月24日(水) 9:45～11:15 荒川の草花のたねのお返し式とサクラソウの移植活動

自然再生地・中池(サクラソウ移植地)において、たねのお返し式とサクラソウの移植活動を同時開催しました(参加児童数31名)。

学校から、今年度収穫できた、カワラケツメイ、カワラナデシコ、メハジキの3種類のたねを受け取りました。

【対応者】浅枝会長・堂本委員長・荒木委員・小川委員・川島委員・事務局(7名)

【取材】朝日新聞・読売新聞・テレビ埼玉

【スケジュール】

時間	内容
9:45	バス(2台) ハツ保公民館→自然再生地・中池
10:00	徒歩移動(駐車場→自然再生地・中池(サクラソウ移植地))
10:15	■サクラソウ等の移植作業 ・はじめの挨拶 ・たねのお返し式 ・移植する植物・移植方法の説明 ・移植作業 ・記念撮影 ・おわりの挨拶
10:45	徒歩移動(自然再生地・中池(サクラソウ移植地)→駐車場)
11:00	バス(2台) 自然再生地・中池→ハツ保公民館

※新型コロナウイルス感染症対策として、バスでの移動は2台に分乗しました。また、移植作業は6班に分かれ、各班1名ずつ交代で作業を行いました。



はじめの挨拶



たねのお返し式



移植する植物の説明



サクラソウの移植作業



移植する植物の説明



記念撮影

### 3. マーケットリサーチの協議結果

- 前回報告（12月3日）からの進捗について報告します。
- タリーズコーヒージャパン株式会社については、委員長、事務局が訪問してヒアリングを行いました。その結果、1月16日ウォークラリーイベントのチラシ設置、ポスター掲示を行っていただきました。
- 新たな連携協働に向けA高校、S研究会、S指導員については、事務局が訪問または電話にてヒアリングを行いました。

団体名	協議結果
タリーズコーヒージャパン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリオ上尾店で、イベントのチラシ・ポスターの設置は可能。</li> <li>・1月16日ウォークラリーイベント（中止）のチラシ設置・ポスター掲示を実施いただいた。</li> <li>・長期的な目線での展開可能性について引き続き協議を実施する。</li> </ul>
A高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理の活動よりは、一般対象の普及広報のイベントなどでポスター展示設営や受付のお手伝いであれば参加できそうである。</li> </ul>
S研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回（秋と翌春）県内の自然地において研修を兼ねて動植物の調査会を実施している。毎年、異なる自然地に訪れて、それぞれ専門分野に分かれて調査を行っている。場所の選定は4月の総会で決定しており、太郎右衛門自然再生地を候補として加えることは可能である。</li> </ul>
S指導員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で各支部が活動しているが、自然再生地の近隣で活動している団体がないため、観察会の会場としての利用も検討しにくい。</li> <li>・会員の高齢化が進んでおり、自分たちの活動を維持することで手一杯の状況であり、現段階での連携協働は難しい。</li> </ul>
O市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太郎右衛門自然再生地で学習活動を望むかは学校次第で、バスのチャーター費など諸条件をクリアする必要がある。</li> <li>・太郎右衛門自然再生協議会で支援できるプログラムメニュー一覧があれば、市内の理科教員が集う「理科研究部会」で情報発信をすることが可能。次は5月を予定しており、4月中に資料をやりとりできることが望ましい。</li> </ul>



タリーズコーヒージャパンでのチラシ設置



タリーズコーヒージャパンでのポスター掲示